

2023 年度実施概要

学校名

糸満市立高嶺中学校

採択活動名

海人科 ～海と人とが共生できる未来を考えよう～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

| 単元名 | 学年 | 教科 |
|-----------------------------------|------|-----|
| 1. GODAC 出前講座 海洋プラスチック問題について考えよう | 1 学年 | 海人科 |
| 2. 赤土等流出防止講座および体験学習 | 1 学年 | 海人科 |
| 3. 探究活動 PBL 学習 | 2 学年 | 海人科 |
| 4. 学習した事を伝えよう ～北海道網走市とオンライン交流授業～ | 3 学年 | 海人科 |
| 5. 糸満市のまちづくりについて ～市議会会議場における議会体験～ | 3 学年 | 海人科 |

取り組みの概要

今年度は各学年のテーマ（1 学年「地域」、2 学年「環境」、3 学年「持続可能」）を設定した。中学校 3 年間の海洋教育で学んだ事を、これからの糸満市のまちづくりにつなげていけるよう、持続可能な開発目標（SDG s）と関連させた取組を計画し、実施する事が出来た。

【1 学年について】

1 学年では、GODAC による海洋プラスチックごみ問題について学ぶ授業を行った。また、より身近な地域の海洋問題として、赤土等流出問題について「グリーンベルト」として草を畑地に植えて赤土流出防止対策の方法を学ぶとともに、実際に地域のカボチャ畑でベチバー植栽体験を行った。



ジオラマによる土砂流出実験



グリーンベルト植栽体験

生徒は GODAC の授業では「もし自分がプラスチックを食べたらどんなだろうと考えてごみはごみ箱に捨ててほしいと思いました。これからはきれいな海にしたいです。」や「僕はこれからも海洋プラスチックの問題について見直そうと思いました。」の感想があった。植栽体験では「力強く育て役に立ってほしい。たくさんカボチャができますように。」との感想があった。

【2 学年について】

2 学年では、探求学習として PBL 学習を行った。地域の企業からの問題提起に対して、生徒たちなりに解決策を考え、グループで協力して根拠資料を準備するなど説得力を持たせるよう工夫しながら発表活動を行った。



最終発表の様子



最終発表会場の様子

【3 学年について】

3 学年では、北海道網走第二中学校と連携したオンライン交流授業を実施することが出来た。本校の生徒は糸満市の地域について紹介した（海ぶどう、方言、サバニ、ハーレー等）。網走第二中学校からは流水や地域の様子について発表して頂いた。オンラインの交流を通じて、同じ海が近い環境であるが、その様子の違いについて理解を深める機会となった。

また、議会体験では糸満市議会の議場にて、生徒は市議会議員や議長の席につき、教員が準備した仮想の議会質問と議事進行のシナリオに沿ってそれぞれが発言していく体験を行った。



オンライン交流学習の様子



市議会議場における体験

網走第二中とのオンライン交流における生徒の感想から、「網走市は海が近いと聞いて、すごくカニや魚がいっぱい取れることがわかりました。糸満と網走は魚や海とかが魅力で盛んなところが似ているなと思いました。」「この交流会を通して、糸満市と網走市はあまり関わる事がなかったので網走のことを知れてよかったです。また、網走は冬になると気温がマイナスになるという事がわかり、めっちゃ寒いなと思いました。」

【学校関係者評価】

学校運営協議会で、海洋教育に関する授業の様子について意見をいただいた。地域を知り、地域の人材を育成するためにも、この取り組みを可能な範囲で継続してほしいとの意見をいただいた。